

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## The Productivity of Reduplication in Japanese: Form, the grammatical function

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 陳, 祥, CHEN, Hiang メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00001665">https://doi.org/10.15084/00001665</a>

# 「XX(と)」、「XXな」、「XXしい」の構造・文法機能 — 畳語による生産性について —

陳祥 (筑波大学 人文社会科学研究科博士後期課程) †

## The Productivity of Reduplication in Japanese : Form, The grammatical function

Hiang Chen

(University of Tsukuba / Graduate School of Humanities and Social Sciences Doctoral Program)

### 要旨

日本語の重複表現の形式は様々であるが、本稿で取り扱うのは「畳語」と呼ばれ、2つの語基の重複によって形成される語である。日本語には畳語が数多く、名詞、動詞など様々な品詞からなる。畳語には生産性が限られているが、「色々な」のように後ろに「-な」、「細々しい」のように後ろに「-しい」などを付け加えることによって、新しい語として形成することが可能である。今回は畳語表現である「XXと」、「XXな」、「XXしい」という3種類を研究対象とする。データとして『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』を使い、3種類それぞれの共起関係や文法的振る舞いを明らかにする。また、構造上においては「色々な、\*色々しい、色々(と)」、「\*軽々な、軽々しい、軽々(と)」のように、3種類における「XX」の使い分けがあると見られ、3種類それぞれの構造が異なることを課題として分析した。例えば、派生元の品詞から見ると、「XXと」の派生元である「X」の品詞は、名詞あるいは形容動詞、動詞、形容詞、副詞であるものがあり、バリエーションが一番豊かであることが分かった。また、BCCWJを使用し、副詞としての畳語は形容動詞としても反復形容詞としても使われている用例が見られる。それは、副詞としての畳語は「XXと」と接続することが最も多いが、「XXな」や「XXしい」の用例も見られることから、使用用法のうち自由度が最も高いと考えられる。今回の考察から、畳語による生産性の理解の助けになることを期待している。

### 1. はじめに

日本語には、同一の文字・語根・語を重ねる畳語と呼ばれる語群が存在する。この中には擬音・擬態語を重ねたものも含まれるが、最も一般的なものは「人々」「時々」といった類である(石川2017)。反復される品詞成分を研究している玉村(1975)では、「人々、山々」のような名詞反復、「われわれ、そこそこ」のような代名詞反復、「恐る恐る、走り走り」のような動詞反復、「たかだか、長々しい」のような形容詞反復などの構造パターンがあると示している。また、これらの語は副詞として使われることが多いと述べている。副詞的に使用される畳語の後接構造を考察する研究は黄(2009)<sup>1</sup>が挙げられている。副詞として動詞を修飾する場合は「と」が65%で「に」は6%に過ぎないと述べている。副詞的に使用される畳語以外に、「色々な、様々な」のように形容動詞として使われることも、「長々し

† sabrina9632@gmail.com

<sup>1</sup> 黄(2009)は、畳語型のオノマトペを研究対象として、それらの後接条件を調査した。

い、若々しい」のように反復形容詞として使われることもある。よって、疊語はこのように後ろに「-な」、「-しい」などを付け加えることによって、新しい語として形成され、バリエーションが豊かであると言える。しかし、疊語はどのような後続条件が存在するか、その構造に対応する意味範疇や共起関係や文法的振る舞いは十分に明らかにされていない。そこで、本研究では現代日本語において「XXと」、「XXな」、「XXしい」を研究対象として取り上げ、対応する共起関係や文法的振る舞いを、『現代日本語書き言葉均衡コーパス(以下“BCCWJ”と称する)』を用いて分析する。3種類における「XX」の使い分けがあると見られ、最終的には、疊語による生産性の理解の助けになることが望ましい。

## 2. 先行研究

疊語の構造・意味を分析した研究としては飯田(2005)、禹(2015)、石川(2017)が挙げられる。

### 2.1 飯田(2005)

飯田(2005)では、「状態という持続的な内容」をもつ形容詞が、合成語のうえで重複関係になる要因を考察するため、形容詞性構成要素からなる重複形容詞の構成要素を中心に、構成要素の意味特徴及び重複形容詞の意味用法を調査した。

その結果、構成要素の意味に「数えられる」対象・範囲等が含まれていれば、重複関係が成立する傾向があること、及び重複関係は多(回)数性を表すことがわかった。この多(回)数性は、場合によっては強調表現として考えられる。

### 2.2 禹(2015)

禹(2015)では、村上春樹の小説作品である『1Q84』Book-1・Book-2・Book-3の3冊に対象を絞り、現代日本語における疊語の諸機能について考察した。

先行研究では、日本語の疊語の機能について<複数>、<反復>、<強調>の三つの意味用法があるが、それらは名詞は<複数>、動詞は<反復>、形容詞は<強調>を表わすと記されている。しかし、『岩波 国語辞典<sup>2)</sup>』において日本語の名詞の疊語に見られた<複数>と<反復>とに関する見解の相違ははっきりしない。そのため、禹(2015)では具体例を手がかりにして、言語を話す主体との関連を取り入れ、3つの意味用法を考察した。

結果から、名詞の疊語形を<複数>として捉えたり、<反復>として捉えたりするという経験的事実に関わる重要な要因は、<時間>という次元の介入の有無に求められることが分かった。また、<強調>は、外界に対する話者の積極的な捉え方の反映であると解し、さらにそれには「時空数量の強調」と「様態の強調」が存在することを明らかにしている。

### 2.3 石川(2017)

石川(2017)では、X々型疊語に対象を絞り、現代日本語の書き言葉コーパス資料を使い、高頻度語形を特定した上で、構造(品詞成分、反復要素同一性、モーラ数、後接構造)、使用(時代影響、ジャンル影響)、意味の3つの点から調査を行った。

構造に関する結果では、反復される要素の品詞は、名詞が他の品詞(形容詞、副詞など)より多いこと、後接助詞については形容詞(句の一部)として名詞を修飾する事例が最も多く、主格、副詞用法がそれに次ぐこと、副詞用法の中では、最も多い順からは助詞を介在させない形「 $\phi$ 」、「に」、「と」などが明らかになった。そして、意味機能に関しては、複数(42%)>反復(25%)>個別(18%)>強調(5%)=増加(5%)=語調調整(5%)となり、複数の意味が最も多いこと、複数の中では多数が単純複数より多いことと述べて

<sup>2)</sup> 西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫(2009)『岩波国語辞典 第7版』岩波書店

いる。

### 3. 調査概要

#### 3.1 調査資料

畳語の品詞はバリエーションが豊かで、名詞や副詞や形状詞など様々である。しかし、品詞が異なっても、重複構造が一致するのは畳語の特徴だと言える。BCCWJの検索機能は3つあり、それぞれ短単位検索、長単位検索、文字列検索である。現段階ではBCCWJにおいて「XX」の重複構造を設定し、畳語を網羅することができていない。従って、共起関係と文法機能を分析する前に、辞書を使い手作業で畳語の数を把握することにした。

具体的には、辞書において、「XXと」、「XXな」構造形式をとっている畳語を抽出し、擬音語と擬態語のようなオノマトペも含む。そして、「XXしい」構造形式をとっている反復形容詞はジャパンナレッジLibから抽出され、その条件設定が次節で詳しく述べる。

抽出した研究対象である「XXと」、「XXな」、「XXしい」を畳語リストに作成した。今回は「XXと」、「XXな」、「XXしい」からそれぞれ使用頻度が最上位5語を相互で比較しながら、構造・文法機能を考察する。

#### 3.2 調査対象

まず、畳語である「色々」は副詞用法とする「色々と」の形と、形容動詞の用法とする「色々な」の形を持つのに対し、畳語である「生き生き」は副詞用法とする「生き生きと」の形のみを持っている。「XXと」と「XXな」は単純語として抽出することが困難であり、後接関係が確認できない状態である。そして、「若々しい」を分解し、畳語である「若々」としては存在せず、単純語として認定し、短単位検索で検索することが可能である。

従って、今回は「XXと」と「XXな」を同一の抽出方法を用い、辞書から畳語を抽出したうえで、BCCWJから後接構造のバリエーションを確認する抽出手法を取る。「若々しい」は「ジャパンナレッジLib」を使い、条件を設定したうえで反復形容詞を抽出する。辞書の抽出やコーパスの条件設定やデータ化など詳しくは次節で述べる。

##### 3.2.1 辞書からの抽出

本研究では、日常生活に必要な語をはじめ、科学技術・情報・医学などの最新語が収載されている『旺文社国語辞典 第十一版』を用い、現代日本語における畳語である「XX」の数を抽出する。国語辞典としては初めて、多義語にその語の核となる意味〈中心義〉が付されており、大学生、高校生向けだけではなく、一般向けであることで、『旺文社国語辞典 第十一版』を選んだ。

今回は漢字と仮名で表示されている「XX」の構造を持つ287語を抽出した。各語の品詞や意味などを含め、リスト化する。次に、BCCWJを使い、現代日本語の書き言葉として使用されている語を抽出する。

##### 3.2.2 コーパスからの抽出

3.2.1の辞書からの抽出は現代語をベースに行われているが、本研究の目的としている畳語の構造と意味と文法機能を分析するためには、数多くの用例から分析を行うことが求められる。そこで、本研究では国立国語研究所から公開されているBCCWJを使用する。BCCWJは、書籍全般、新聞、ネット掲示板、教科書などのジャンルにまたがって1億430万語のデータを対象とした書き言葉均衡コーパスである。現在、日本語について入手可能な唯一の均衡コーパスだと言われている。このように多様な言語資料の性質を持ち、近代語の資料として代表性を有すると考える。

『旺文社国語辞典 第十一版』から抽出した287語のうち、14語<sup>3</sup>はヒットされていない

<sup>3</sup> BCCWJでは、えんえん(炎炎)、しょしょ(処処)、そばそば、たんたん、ちゃくちゃく(嫡嫡)、ちんちん、ちんちん(沈沈)、てきてき(滴滴)、なおなお(尚尚)、はらはら、ひょうひょう、ぼうぼう(某某)、れんれん(連連)、れんれん(漣漣)の畳語が見つからない。

ため、調査対象は合計 273 語となる。273 語の使用用法と使用頻度を収集するため、BCCWJ の文字列検索と短単位検索を利用する。具体的な手順は下記の通りである。「XX」の後接構造、語彙素の表記、品詞などを確認するため、文字列検索では短単位、長単位の区切りを意識せずにコーパス全体のデータを検索した。検索した結果は 273 語の「XX」のうち、形容動詞として使われる「XXな」は 14 語であり、副詞として使われる「XXと」は 209 語である。

次に、短単位検索を利用し、確認した語彙素表記の「XX」を入力し、キー後方に現れる 1 語の距離を条件と設定した。「XXと」の場合は図 1 のように、後方共起キーからのところが「語彙素が『と』」かつ「品詞の中分類が『助詞-格助詞』」を指定し、各量語の使用頻度を検索する。

The screenshot shows the '短単位検索' (Short Unit Search) interface. It features a search bar at the top with the title '短単位検索'. Below the search bar, there are several sections for setting search conditions:

- 前方共起条件の追加** (Add front co-occurrence conditions): A section with a 'キー' (Key) dropdown set to '--', a distance dropdown set to '1', and a unit dropdown set to '語'. A checkbox 'キーの条件を指定しない' (Do not specify key conditions) is present.
- 後方共起1** (Add back co-occurrence 1): A section with a 'キーから' (Key from) dropdown set to 'キーから', a distance dropdown set to '1', and a unit dropdown set to '語'. A checkbox 'キーと結合して表示' (Combine key and display) is present.
- AND 品詞** (AND Part of Speech): A section with a '品詞' (Part of Speech) dropdown set to 'の', a '中分類' (Sub-classification) dropdown set to 'が', and a '助詞-格助詞' (Particle-Case Particle) dropdown set to '助詞-格助詞'.

The search input field contains the text '語彙素 が 我々' (Lexeme that we).

図 1 「XXと」の抽出方法

「XXな」の場合は図 2 のように、後方共起キーからのところが「語彙素が『だ』」かつ「品詞の小分類が『連体形-一般』」を指定し、各量語の使用頻度を検索する。

The screenshot shows the '短単位検索' (Short Unit Search) interface. It features a search bar at the top with the title '短単位検索'. Below the search bar, there are several sections for setting search conditions:

- 前方共起条件の追加** (Add front co-occurrence conditions): A section with a 'キー' (Key) dropdown set to '--', a distance dropdown set to '1', and a unit dropdown set to '語'. A checkbox 'キーの条件を指定しない' (Do not specify key conditions) is present.
- 後方共起1** (Add back co-occurrence 1): A section with a 'キーから' (Key from) dropdown set to 'キーから', a distance dropdown set to '1', and a unit dropdown set to '語'. A checkbox 'キーと結合して表示' (Combine key and display) is present.
- AND 活用形** (AND Inflection Form): A section with a '活用形' (Inflection Form) dropdown set to 'の', a '小分類' (Sub-classification) dropdown set to 'が', and a '連体形-一般' (Conjunctive Form-General) dropdown set to '連体形-一般'.

The search input field contains the text '語彙素 が 様々' (Lexeme that various).

図 2 「XXな」の抽出方法

抽出した「XXと」、「XXな」の使用頻度を調査し、最上位 5 語を分析対象とし、結果は表 1 と表 2 にまとめる。

表1 使用頻度が高い5語「XXと」

	平仮名	漢字	数
1	いろいろと	色々	2820
2	つぎつぎと	次々	2281
3	どうどうと	堂々	1201
4	いきいきと	生き生き・活き活き	849
5	ひとびとと	人々	675

表1に示すように、副詞として使われる「XXと」を使用頻度の高い順に並べると、「色々」と、「次々と」、「堂々と」、「生き生き・活き活きと」、「人々と」となった。

表2 使用頻度が高い5語「XXな」

	平仮名	漢字	数
1	さまざま	様々	13455
2	いろいろな	色々	9714
3	さんざんな	散々	94
4	しゅじゅんな	種々	49
5	しんしんな	津々	14

表2に示すように、形容動詞として使われる「XXな」を使用頻度の高い順に並べると、「様々な」、「色々な」、「散々な」、「種々な」、「津々な」となった。

表1と表2から分かるように、疊語である「色々」は副詞と形容動詞と両方として使われる。副詞として使われる「次々」、「堂々」などの疊語は形容動詞として使われるかは疑問であり、使用されているかを検証する必要がある。同様に、形容動詞として使われる「様々」、「散々」などの疊語は副詞として使われるかは疑問であり、使用されているかを検証する必要がある。よって、本研究は疊語による生産性が自由ではなく、構造に偏りがあると考えられる。

### 3.2.3 ジャパンナレッジLibからの抽出

「ジャパンナレッジLIB」とは、約50種類の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級のデジタル辞書・事典サイトである。基本検索以外に、詳細（個別）検索も可能であり、各辞事典に応じたオリジナルな絞り込み機能（ファセット）を加えることによって、細かく考察することができる。

今回は現代日本語における「XXしい」を網羅するため、詳細検索のコンテンツのところ「デジタル大辞泉」、『日本国語大辞典 第二版』を用いる。そして、辞書の見出し語の検索方法では、後方一致検索である「しい」、かつ全文検索である「形容詞」という条件を設定する。抽出した語のうち、あいきょうらしい(愛嬌らしい)、あやしい(怪しい)などのように「XXしい」構造を持たない語を除き、調査対象になるのは101語である。抽出した「XXしい」の使用頻度を調査し、最上位5語を分析対象とし、結果は表3にまとめる。

表3 使用頻度が高い5語「XXしい」

	平仮名	漢字	数
1	ばかばかしい	馬鹿馬鹿しい	493
2	なまなましい	生々しい	467
3	すがすがしい	清々しい	373
4	わかわかしい	若々しい	349
5	みずみずしい	瑞々しい・水々しい	333

表3に示すように、反復形容詞として使われる「XXしい」使用頻度の高い順に並べると、「馬鹿馬鹿しい」、「生々しい」、「清々しい」、「若々しい」、「瑞々しい・水々しい」となった。

#### 4. 結果と考察

BCCWJを使用し、「XXと」、「XXな」、「XXしい」という3種類それぞれの共起関係や文法的振る舞いを明らかにする。また、構造上においては「色々な、\*色々しい、色々(と)」、「\*軽々な、軽々しい、軽々(と)」のように、3種類における「XX」の使い分けがあると見られ、3種類の成立をグルーピングするかも課題として分析した。以上の考察から、疊語による生産性の理解の助けになることを期待している。

##### 4.1 「XXと」

副詞用法として使用される「XXと」の構造や文法機能などの特徴を明らかにするため、まず、どのような疊語が格助詞「と」と後続するか、疊語の派生元である「X」の品詞から考察してみる。以下では、現代日本語の「XXと」を派生元の品詞別に5つのカテゴリーに分類している。

- A. 派生元が名詞あるいは形容動詞であるもの。例：多多と(多)、嫌々と(嫌) …。
- B. 派生元が動詞であるもの。例：生き生きと(生きる)、追い追いと(追う) …。
- C. 派生元が形容詞であるもの。例：薄々と(薄し)、長々と(長し) …。
- D. 派生元が副詞であるもの。例：すらすらと(すらり)、ちらちらと(ちらり) …。

疊語の派生元である「X」の品詞は、名詞あるいは形容動詞であるもの、動詞であるもの、形容詞であるもの、副詞であるものが見られる。これらの疊語は副詞として使われる用法が使用されるかを検証するため、BCCWJを用い、それぞれ形容動詞の「XXな」と形容詞の「XXしい」の用法があるかを調べる。

まず、疊語の後接は「と」を「な」に変え、「色々な」、「次々な」、「堂々な」、「生き生き・生き活きな」、「人々な」の用例を検索してみる。「色々な」は最も使用され、「堂々な」と「人々<sup>4</sup>」は1件しかなく、「次々な」、「生き生きな・生き活きな」の用例は1件もないことが分かった。以下では「堂々な」と「人々な」それぞれの1例を挙げる。

- (1)カン・ドンウォンは『威風堂々(な)彼女』(十七、七%)が最高のヒット作。  
Yahoo!ブログ(2008)
- (2)補助的な仕事をする女の子正社員。すぐ結婚して辞めちゃう人々(な)イメージ。  
Yahoo!知恵袋(2005)

次に、疊語の後接は「と」を「しい」に変えてみる。辞書では「諄々(くどくど)」、「細々

<sup>4</sup> 「人々な」を検索したところ32例であるが、「やはり島国の人々(な)のだ。」のような連体修飾の用法ではない例が多い。32例のうち、31例は連体修飾用法から除く。

(こまごま)、「ずかずか」は「副詞」として記述されているが、BCCWJ の実際の用例である「くどくどしい」のような反復形容詞としての用法が見出される。今回は、「諄々(くどくど)しい」、「細々(こまごま)しい」、「ずかずかしい」、「どくどくしい」、「長々(ながなが)しい」、「ぶくぶくしい」、「麗々(れいれい)しい」という7語の反復形容詞が使われていることが分かった。

#### 4.2 「XXな」

形容動詞として使われる「XXな」の構造や文法機能などの特徴を明らかにするため、まず、どのような畳語が連体活用形「だ」と後続するか、畳語の派生元である「X」の品詞から考察してみる。以下では、現代日本語の「XXな」を派生元の品詞別に3つのカテゴリーに分類している。

- A. 派生元が名詞あるいは形容動詞であるもの。例：色々な(色)、様々な(様) …。
- B. 派生元が形容詞であるもの。例：熱々な(熱し)、深々な(深し) …。
- C. 派生元が副詞であるもの。例：さらさらな(さらり)、もぞもぞな(もぞり) …。

畳語の派生元である「X」の品詞は、名詞あるいは形容動詞であるもの、形容詞であるもの、副詞であるものが見られる。副詞と異なり、形容動詞として使われる畳語は動詞からなるものが見られなかった。そこで、形容動詞として使われる用法がより使用されたかを予測する。以下では、BCCWJ を用い、形容動詞として使われる「XX」は副詞の用例「XXと」または形容詞の用法「XXしい」を持つかを調べてみる。

まず、形容動詞として使われる「XX」は副詞の用例「XXと」との関連について述べる。辞書では、形容動詞として使われる「様様(さまさま)」、「深深(しんしん)」などの品詞が「形動タリ」あるいは「形動ダ」のみとして記述されているが、BCCWJ の実際の用例である「様様と」のような副詞的な用法が見出される。他にも、「色々(いろいろ)」、「散々(さんざん)」、「種々(しゅじゅ)」、「隆々(りゅうりゅう)」、「ぐちゃぐちゃ」、「さらさら」、「すかさずか」、「ほくほく」、「もぞもぞ」は形容動詞として「XXな」、副詞として「XXと」の構造を両方持っている。つまり、実例から畳語後ろに「-な」を付け加えることによって、新しい語・用法として形成することが可能であり、生産性がある。

形容動詞と副詞両方として使われる「色々」を除き、「様々」、「散々」、「種々」の構造及び文法機能は使用されているかを検証してみる。結果としては、「種々と」(4例)、「様々と」(3例)、「散々と」(2例)が見出される。以下ではそれぞれ1例を挙げる。

- (3) この裏が、ほら、シーボルト先生も、種々(と)異国の花をお育てになられた、お花畠ですのよ。

栗田勇(2001)『漂民』

- (4) 千代子は様々(と)政男の悪口を言ひ、自分の立場を擁護しているのだった。

沢憲一郎(1994)『二人の千代子』

- (5) なぜかといえば、物件にさんざん(と)文句をつけたあげく、大したものを買わないケチな香港人と違って

莫邦富(1995)『十二億人市場を狙え』

- (6) はっきりとお断り申して居きます。種々(と)お話もつきませんが、この辺で幕に致しま志う。

北村銀太郎(2001)『聞書き・寄席末広亭』

次に、形容動詞として使われる「XX」は形容詞の用法「XXしい」との関連について述べる。BCCWJ を検索してみると、同じ畳語構造を持つ場合には、「XXな」と「XXしい」を両方に持つ語は1例もない。以上の考察から、副詞としての用法「XXと」に比べ、形容動詞として使われる用法「XXな」がより使用されやすいと考えられる。

#### 4.3 「XXしい」

反復形容詞として使われる「XXしい」の構造や文法機能などの特徴を明らかにするため、荒川(2006)の研究が挙げられる。荒川(2006)では、現代日本語の重複形容詞を派生元の品詞別に3つのカテゴリーに分類している。

- A. 派生元が名詞あるいは形容動詞であるもの。例：初々しい(ういういしい)、清々しい(すがすがしい) …。
- B. 派生元が動詞であるもの。例：忌々しい(いまいましい)、おどろおどろしい(おどろく) …。
- C. 派生元が形容詞であるもの。例：痛々しい(痛し)、軽々しい(軽し) …。

畳語の派生元である「X」の品詞は、名詞あるいは形容動詞であるもの、動詞であるもの、副詞であるものが見られる。これらの畳語は反復形容詞として使われる用法が使用されるかを検証するため、BCCWJを用い、それぞれ副詞の「XXと」と形容動詞の「XXな」の用法があるかを調べる。

まず、上位5語の反復形容詞である「馬鹿馬鹿しい」、「生々しい」、「清々しい」、「若々しい」、「瑞々しい・水々しい」の後接は「しい」を助動詞の「と」に変えてみると、「清々(せいせい)と」と「生々と」の使用が見られる。

(7) 牢囚の身にあつて、ベルは闇の中にいた。清々(と)した、静かな闇だ。

沖方丁(2000)『ばいばい、アース』

(8) 男の子はひとり車体の柱を握つて、その生々(と)した眼で野の中を見続けた。

横光利一(2002)『編年体大正文学全集』

次に、畳語の後接は「しい」を「な」に変えてみる。BCCWJでは、同じ畳語構造を持つ場合には、「XXしい」と「XXな」を両方に持つ語は1例もないことが分かった。一般的には、形容詞として使われる「～い」か「～な」どちらかの形で捉え、それで反復形容詞「XXしい」は形容動詞「XXな」の形も持つのが困難であると考えられる。

#### 5. おわりに

以上、辞書とコーパスを用いた考察の結果、畳語の構造を中心に派生元の品詞だけではなく、後接の用法「XXと・XXな・XXしい」が絡み合っていることが明らかになった。派生元の品詞から見ると、「XXと」の派生元である「X」の品詞は、名詞あるいは形容動詞、動詞、形容詞、副詞であるものがあり、バリエーションが一番豊かであることが分かった。また、BCCWJを使用し、副詞としての畳語は形容動詞としても反復形容詞としても使われている用例が見られる。それは、副詞としての畳語は「XXと」と接続することが最も多いが、「XXな」や「XXしい」の用例も見られることから、使用用法のうち自由度が最も高いと考えられる。

本調査を通し、畳語には生産性が限られているが、後ろに「-な」、「-しい」などを付け加えることによって、新しい語として形成することが可能である。今回は3種類それぞれの最高使用頻度の5語のみを研究対象としたが、今後の課題としては、対象または用例数が少ないため、さらに今回の傾向性を検証する必要がある。また、意味について詳しく言及するには至っていないため、3種類それぞれ元の畳語・派生元との関わりについて論じる。

## 謝 辞

本研究は、日頃から私の研究指針と研究方法について多大なご指導およびご助言をいただいた小野正樹教授に深く感謝の意を表します。本研究で参考になった畳語の語彙表の作成に際し、国立国語研究所の浅原氏にご協力頂いた。記して感謝申し上げます。

## 文 献

- 荒川洋平 (2006) 「認知意味論に基づく重複形容詞の分析」『高見澤孟先生古希記念論文集』, pp. 71-91, 凡人社.
- 飯田寿子 (2005) 「形容詞性構成要素からなる重複形容詞について—構成要素の特質をめぐって—」『国語学研究』 44, pp. 80-92.
- 石川慎一郎 (2017) 「X々型畳語の構造・使用・意味特性—「現代日本語書き言葉均衡コーパス」を用いた計量的調査—」『統計数理研究所共同研究レポート』 373/374, pp. 55-74.
- 小野尚之 (2015) 「構文的重複語形成—『女の子の子した女』をめぐって」由本陽子、小野尚之 (編) 『語彙意味論の新たな可能性を探る』, pp. 463-489, 開拓社.
- 黄慧 (2009) 「日本語のオノマトペに後続する助詞について:『と』および『に』をめぐって」『コーパスに基づく言語学研究報告』 1, pp. 267-285.
- 晋栄和 (1995) 「現代語畳語形容詞の語構造について:『転成』との関連をめぐって」『東北大学文学部日本語学科論集』 5, pp. 49-60.
- 玉村文郎 (1975) 「和語は造語力が弱いのか」波多野完治・西尾寅弥 (編) 『現代日本語の単語と文字』, pp. 121-146. 汐文社
- 禹昊穎 (2015) 「畳語の諸機能」『学習院大学人文科学論集』 24, pp. 25-57.

## 辞 書

- 山口明穂、和田利政、池田和臣 (2013) 『旺文社国語辞典 第十一版』旺文社
- 国立国語研究所編 (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』東京:大日本図書

## 関連 URL

- |  |   |
|--|---|
| コーパス検索アプリケーション 『中納言』                   | <a href="https://chunagon.ninjal.ac.jp/">https://chunagon.ninjal.ac.jp/</a> |
| コーパス検索ツール 『NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB)』 | <a href="http://nlb.ninjal.ac.jp/">http://nlb.ninjal.ac.jp/</a>             |
| オンライン辞書・事典サイト 『ジャパンナレッジ LIB』           | <a href="https://japanknowledge.com">https://japanknowledge.com</a>         |